

# Mémoires 2022

## 第74回 朝日杯フューチュリティステークス(GI)



### 母と同じ舞台で ドルチェモア

抜群のセンスで好位から押し切り、桜花賞馬の仔が無敗の戴冠を果たした。

マイルGIらしくスピード豊かなメンバーが揃う中、1番人気に推されたのはドルチェモアだった。札幌芝1500mの新馬戦は3馬身差の逃げ切り勝ち。続くサウジアラビアロイヤルCでは大逃げの馬を2番手から捉えて突き放し、連勝を達成。そのレースセンスの高さは、この大舞台でも存分に発揮された。

好スタートを切ったドルチェモアは、いったんは先頭に立ちかけるも、そこから控える。デイリー杯2歳Sを逃げ切ってきたオールパルフェ、サウジアラビアロイヤルCで大逃げから2着に粘ったグラニットを先に行かせ、3番手の内で折り合ってレースを進めた。鞍上は初コンビの坂井瑠星騎手。「4週続けて追い切りに乗せていただいて、この馬のことはわかっていました。行く馬を行かせてイメージ通り運べました」と振り返った通りの、冷静な騎乗だった。

直線で外へ出されたドルチェモアは、そこから加速。残り200mを切ったところで先頭に立つ。後方から迫るのは2頭、デイリー杯2歳Sを鋭い末脚で追い込んで2着となった2番人気ダノンタッチダウンと、新馬勝ちの末脚が評価され、1戦1勝ながら3番人気のレイベリング。しかし、しぶとく伸び続けたドルチェモアは、最後はクビ、クビ差の大接戦を制してみせた。

約2カ月前の秋華賞でGI初制覇を達成したばかりの坂井騎手は、これで通算2勝目。また須貝尚介調教師は数々のGIを制してきたが、2歳牡馬でのGI勝ちはこれが初であった。ドルチェモアの母は2013年の桜花賞馬アユサン。母と同じように阪神競馬場のマイル戦でクビ差粘っての戴冠となった。

#### 第74回朝日杯フューチュリティステークス(GI)

12/18 阪神競馬場 1600m(芝・右・外)晴・良 17頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ドルチェモア	牡	2	55	坂井 瑠星	須貝 尚介	1:33.9	①	③③
2	ダノンタッチダウン	牡	2	55	川田 将雅	安田 隆行	クビ	②	⑩⑪
3	レイベリング	牡	2	55	横山 武史	鹿戸 雄一	クビ	③	⑤⑤
4	キョウエイブリッサ	牡	2	55	川須 栄彦	武市 康男	1 1/4	⑩	⑦⑦
5	バグラダス	牡	2	55	吉田 隼人	嘉藤 貴行	3/4	⑧	⑤⑤
6	オールパルフェ	牡	2	55	大野 拓弥	和田 雄二	3/4	④	①①
7	オオバンブルマイ	牡	2	55	C.ルメール	吉村 圭司	1/2	⑤	⑮⑭
8	ティニア	牡	2	55	福永 祐一	池江 泰寿	1	⑦	⑦⑦
9	コーバスクリスティ	牡	2	55	D.イーガン	中内田充正	1/2	⑥	⑬⑪
10	グラニット	牡	2	55	松山 弘平	大和田 成	1/2	⑨	②②
11	ニシノベストワン	牡	2	55	藤岡 佑介	新谷 功一	クビ	⑮	⑮⑮
12	ドンデンガエシ	牡	2	55	横山 典弘	尾関 知人	1/2	⑪	⑭⑮
13	ススカダブル	牡	2	55	鮫島 克駿	西村 真幸	1/2	⑫	⑨⑨
14	ミシエラドラータ	牡	2	55	酒井 学	清水 久詞	クビ	⑮	⑩⑨
15	ウメムスビ	牡	2	55	角田 大河	新谷 功一	2	⑬	③③
16	フロムダスク	牡	2	55	武 豊	森 秀行	1/2	⑭	⑮⑮
17	エンファサイズ	牡	2	55	藤岡 康太	四位 洋文	クビ	⑩	⑩⑪

単勝 ②310円 複勝 ②130円 ⑩140円 ⑬210円 枠連(1-6) 560円  
馬連 ②-⑩550円 馬単 ②-⑩1,070円 ワイド ②-⑩260円 ②-⑬520円 ⑩-⑬490円  
3連複 ②-⑩-⑬1,280円 3連単 ②-⑩-⑬4,570円

ハロンタイム 12.4-10.4-11.3-11.6-12.1-11.7-12.0-12.4  
通過タイム 600m34.1-800m45.7-1000m57.8-1200m1:09.5-1400m1:21.5



#### 優勝馬:ドルチェモア

2020.2.21生 牡 鹿毛  
父:ルーラーシップ  
母:アユサン  
母の父:ディーブインパクト  
生産:日高・下河辺牧場  
馬主:(株)スリーエイチレーシング